



沈黙に次いで最も美しい音

ECMの世界



ECM レコード (Edition of Contemporary Music) は、1969 年にコントラバス奏者であり、グラモフォンで録音技師の経歴も持つマンフレート・アイヒャーによってミュンヘンで設立されたヨーロッパを代表するジャズ・レーベル。「沈黙に次いで最も美しい音”The Most Beautiful Sound Next To Silence”」という理念のもと、その透明感のあるサウンドと洗練された美しいジャケット・デザインなどが世界の多くのファンを魅了している。1970 年代にはキース・ジャレットの『The Köln Concert』などのヒットで独自のレーベルイメージを確立。さらに、ジャズのみならずクラシックや現代音楽にも進出し、1984 年には「ECM ニュー・シリーズ」を立ち上げた。欧米の多様なアーティストを擁し、フリー・ジャズや民族音楽の要素も取り入れ、創立から 56 年、1700 を超えるアルバムを発表し、独自の美意識を貫きながら発展を続けている。本日は、ECM レーベルを代表する名盤から 7 曲を選んで、お楽しみいただきます。

■ Chick Corea・Gary Burton(**Crystal Silence**) 19731. *Crystal Silence* 9:01

Chick Corea (p) Gary Burton (vibraphone)

繊細なタッチのピアノと透明感のあるヴィブラフォンのデュオによる、美しく幻想的な音の世界が広がる。

■ Ralph Towner(**Trios / Solos**) 19732. *Brujo* 5:35

Ralph Towner (g), Glen Moore (b), Collin Walcott (per)

クラシック・ギターを駆使しながらジャズ、民族音楽、現代音楽を融合した独自のスタイルを築く。「Brujo」は彼のアコースティック・ギターの透明感あふれる音色と、ベース、パーカッションの緻密なアンサンブルが特徴

■ Keith Jarrett(**Still Live**) 19883. *Late Lament* 8:40

Keith Jarrett (p) Gary Peacock (b) Jack DeJohnette (d)

ポール・デズモンド作曲の美しいバラード。Jarrett らしい歌心のあるメロディと、リズムセクションの絶妙なインタプレイが際立つ。



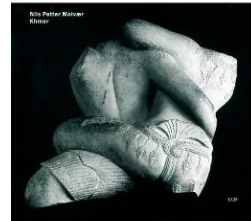
■ Nils Petter Molvær (**Khmer**) 1998

4. *Tion* 7:53

Nils Petter Molvær (tp), Sampling & Programming

Nils Petter Molvær は、ノルウェー出身のトランペッター。

『Khmer』は、ジャズとエレクトロニカを融合した革新的なアルバムで、「Tion」は浮遊感のあるサウンドスケープとエレクトロニクスの融合で「静寂」と「空間」を見事に表現。

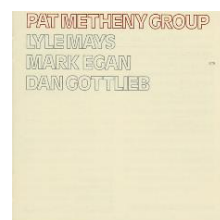


■ Pat Metheny (**Pat Metheny Group**) 1978

5. *Phase Dance* 8:19

Pat Metheny(g)Lyle Mays(p)Mark Egan(b)Danny Gottlieb(d)。

流れるようなギターの旋律と、Lyle Mays のシンセサイザーが織りなす浮遊感のあるサウンドが特徴。Metheny の爽やかでメロディアスなギター・プレイが際立つ。

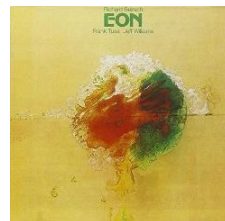


■ Richie Beirach (**Eon**) 1974

6. *Eon* 8:13

Richard Beirach (p) Frank Tusa (b) Jeff Williams (d)

Richie Beirach は、クラシックの影響を受けた美しいハーモニーと、即興性を兼ね備えたピアニスト。印象派を思わせるようなピアノの響きと、静かに躍動するリズムセクションが魅力の楽曲。



■ Chick Corea (**Return to Forever**) 1972

7. *What Game Shall We Play Today* 4:26

Chick Corea (p)Flora Purim (vo)Joe Farrell (f, soprano sax)Stanley Clarke(b)Airto Moreira (d)

ラテンやブラジル音楽の要素を取り入れた名作。Flora Purim の透明感のあるボーカルと、Corea のリリカルなピアノが調和する。



以上